

学生、保証人 各位

2022 年度の授業方針について

学長 吉田 宗平

謹啓

4月からの新年度を迎えるにあたり、この2年間の新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを改めて振り返ってみますと、大学教育においても非常に大きな変化があったことを感じます。まずは、本学においても学生の皆さんの安全を最優先しながら、医療専門技術や実技を身につけるための実習・演習科目については、積極的に対面授業を取り入れてまいりました。また一方では、ICT技術を活用した遠隔授業（オンライン授業、オンデマンド授業）を適宜併用して「教育の質」を落とさない努力をしてまいりました。学生の皆さんにとっても、私共教職員にとっても、これまでとまったく異なる授業システムの導入と実践に戸惑う日々でした。このような教育手法の急速な変化の中で、今日までの学生ならびに保証人の皆様から頂戴したご理解とご協力に対しまして、改めて御礼申し上げます。

今後もコロナ禍の継続が予想される中で、本学の建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を持った医療人を育成することは、私共教職員の喫緊の課題といえます。そのためには、第一に大学キャンパスでの対面授業や課外活動などを積極的に回復し、「奉仕の精神」のもと、人と人との「絆」を取り戻せる教育の新たな発展を図りたいと思っております。第二には、来る2022年度の教育においては、今年度以上に教育のDX化（デジタルトランスフォーメーション）が求められてくることから、今あるアナログデータのデジタル化を促進し、持続可能で既存の価値観に捉われない多様な教育システムと、それを支える大学文化・風土を構築していきたいと考えています。

しかし、当面の課題として、対面授業の実施に際しましては、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間は、厚生労働省による「新しい生活様式」に基づく感染防止策と、本学各学科の状況に合わせた独自の感染防止ガイドラインを共に遵守することが基本となります。学内の教室や学生食堂等の施設利用に関しても適切な感染防止対策を取りつつ、学生生活の新しいスタイルを作りたいと思っております。本学では、引き続き学生の皆さんの安全と本学の教育内容の充実・発展が図れるよう、教職員が一丸となって尽力する所存です。今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、万一、新型コロナウイルス感染症が一層拡大するなど対面授業の継続が困難な状況となった場合は、速やかに遠隔授業に切り替えて学生の皆さんの安全を確保する対応を図ります。そういった方針変更をせざるを得ない場合には、すみやかに連絡させていただきます。

新型コロナウイルス感染症を取り巻く社会環境のなか、どうぞ皆さまには、ご自愛下さいますようお願いするとともに、皆さまとご家族のご健康を切に祈念申し上げます。

謹白